

添付資料2 「環白神エコツーリズム推進協議会」の概要

<組織概要>

名称	環白神エコツーリズム推進協議会
組織形態	任意団体
設立総会	平成 23 年 2 月 23 日（水）
設立発起人 （発足時会員）	鱒ヶ沢町、深浦町、西目屋村、藤里町、八峰町、青森県、秋田県 東北地方環境事務所、東北森林管理局

<事業内容>

- (1) エコツーリズム推進に係る環白神地域の関係機関及び団体の連携
- (2) 「白神山地世界遺産地域連絡会議」との連携
- (3) その他、エコツーリズム推進に係る環白神地域の振興に必要な事項

<設立趣意>

青森・秋田両県に広がる白神山地は、広大で原始的なブナ林とその生態系が、世界的に貴重な価値を認められ、平成 5（1993）年、日本で最初の世界自然遺産として登録されました。

白神山地世界遺産地域及びその周辺地域（環白神地域）の、私たちの歴史・文化、山・里・海の暮らしや産業は、白神山地の豊かな恵みに支えられています。私たちは、その豊かな恵みをもたらす白神山地の遺産価値を、未来へ継承していかなければなりません。

そのためには、地域の人々が、白神山地の価値を共有するとともに、その価値の保全と、地域の自然・文化資源を活かした観光振興、地域振興の両立を図り、持続可能な地域づくりを目指す、エコツーリズムの推進が必要です。それには、地域住民をはじめ、多様な地域関係者や産業が連携し合い、「環白神」地域として一体的に取り組んでいくことが大切です。

このような認識にたつて、エコツーリズムを通じた環白神地域の振興、及び環白神地域の自然・文化資源の保全と適正利用を推進することを目的として、環白神エコツーリズム推進協議会を設立するものです。